

石川県七尾美術館だより

平成23年10月1日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第67号（秋号）



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM

2011 イタリア・ボローニャ
国際絵本原画展
「ペットを飼ってもいい？」
チェン・インファン（台湾）



展覧会紹介

平成23年10月1日(土) ~ 12月28日(水)

休館日については裏表紙をご覧ください

「2011イタリア・ボローニャ

国際絵本原画展」

11月11日(金) ~ 12月18日(日)

〔会期中無休〕

◆第1・第2・第3展示室

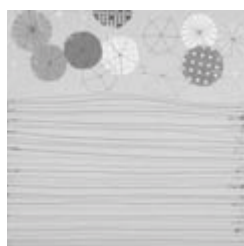
「ボローニャ・ブックフェア」は毎年春にイタリア北部の古都ボローニャ市で開催されている世界で唯一の児童書専門見本市です。1964年に始まったこのブックフェアは、一般の読者たちが絵本を購入する場ではなく、世界中の出版社により、絵本の版權などが売買されています。そして、そこに集まるのは優れたイラストを求める編集者と、絵本の世界へ飛び込みたい無名のイラストレーターたちです。ここで両者が出会い、毎年新しい絵本作家が生まれ、ここからたくさんの絵本が世界へ旅立ちます。

1967年にはイラストレーターに作品発表の機会を設けるため「子どもの本のための原画コンクール」が始まりました。5枚1組のイラストを審査するもので、16歳以上の誰でも応募でき、出版経験のあるなしにかかわらず公平に審査されることから、新人イラストレーターの登竜門として

も注目されています。

ヨーロッパのみならず世界中から集まった応募作品は、職業も国籍も異なるメンバーで構成される国際審査団によって審査されます。審査員は毎年代わり、審査基準も彼らに委ねられますが、確かな技術力と独創性なしには到底入選できません。本はイラスト、文章、活字、レイアウト、版型、印刷方法など様々な要素で構成されます。文章から広がるイラスト、イラストから広がる物語があり、その関係は密接です。コンクールではこの中からイラストの持つ力が審査されます。今年の審査員は、パオロ・カントン(トビビットリ出版/イタリア)、カルル・クヌート(イラストレーター/ベルギー)、リュボスラウ・パリヨ(イラストレーター/スロヴァキア)、エレン・サイプ(カッペン出版/ノルウェー)、ソフィー・ヴァン・デル・リンデン(批評家〔児童文学〕/フランス)、の5人でした。彼らは世界58カ国、2836組の応募作品から日本人19作家を含む、20カ国、76作家の作品を選び出しました。

本展覧会は、このコンクールの入選作品を紹介するもので、日本では1978年に初めて紹介され、当館では1998年以降毎年開催し、今年で



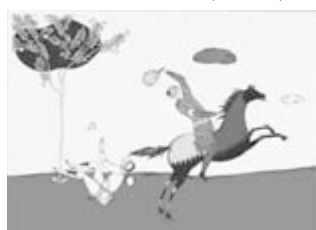
「満ち潮」
テレーザ・コルテス (ポルトガル)



「ゾウさんゾウさんウサギさん」
藤本 将 (日本)



「まだ遠いの?」
イングリッド・ゴドン (ベルギー)



「ルーミーの話」
ヌーシェン・サファーフ (イラン)

35歳以下のボローニャ展入選者から選ばれ、賞金3万ドルとSM出版が提示したテーマでの絵本出版が約束されます。フィリップに与えられたのは日本の「かぐや姫」。独自の解釈で創り出した新たな「かぐや姫」の世界を絵本原画19点とスケッチで紹介します。



「かぐや姫」より「月へ帰る」
フィリップ・ジョルダノ

【特別展示】

今年の特別展示はフィリップ・ジョルダノ。1980年、イタリアのリグーリア海岸沿いの小さな町チェッレで生まれたフィリップは、ミラノのブレラ美術学校、ヨーロッパ美術学校でイラストレーションを学び、さらにトリノでアニメーション技術を学びました。2000年ごろから、子どもの本のイラストレーションに興味を持ち始め、2004年にイタリア・ボローニャ国際絵本原画展に入選。2010年に再入選した作品で、ボローニャ・ブックフェアとスペインのSM財団が創設した「ボローニャSM出版賞」の第1回受賞者となりました。受賞者は35歳以下のボローニャ展入選者から選ばれ、賞金3万ドルとSM出版が提示したテーマでの絵本出版が約束されます。フィリップに与えられたのは日本の「かぐや姫」。独自の解釈で創り出した新たな「かぐや姫」の世界を絵本原画19点とスケッチで紹介します。



「もしカエルがカゼをひいたら?」
カトリン・シュタングル (ドイツ)



「チャーリー・チャップリン」
イザベッラ・ラバーテ (イタリア)

15回目を迎えます。ヨーロッパ、アジア、中東、北米、南米とバラエティに富んだ国々からの原画をお楽しみください。この展覧会で、皆さまに新たな出会いがあることを期待しています。

【映像コーナー】

今年1月に行われたボローニャ展作品審査会、3月に開催されたブックフェアの様子に、審査員や入選作家へのインタビューを交えて紹介します。

【絵本コーナー】

展示作品や入選作家の絵本、ボローニャ児童図書展でラガッツィ賞を受賞した世界の絵本におススメ絵本を加え、約100冊をご覧いただけます。

●●●●● ボローニャ展関連イベント ●●●●●

★絵本アニメ上映会★【入場無料】

世界の名作絵本アニメを上映します。絵本に登場するキャラクターがスクリーンを動き回ります。

開催日 11/12(土)、13(日)、19(土)、26(土)
12/3(土)、4(日)、10(土)、17(土)

時間 11:00～11:40、13:00～13:40

会場 アートホール

★かんたん絵本を作ろうよ！★【要観覧券】

いらなくなったポスターやカレンダーなどの裏面を利用して冊子を作り、ストーリーを考え、自由に飾りつけてオリジナル絵本を作ります。

日時 会期中毎週土・日曜日、14:00～16:00
対象 4歳～小学生(未就学児は保護者同伴)
定員 各日10名(要申込、先着順)

持ち物 不要なポスターなど
協力 絵本の会 もこもこ
会場 展示室内

★「のまりん」の紙芝居劇場★【入場無料】

紙芝居の前に座ると、大人も子どももワクワクドキドキ。日本だけでなく世界で紙芝居の魅力を伝える「のまりん」の豊かな表現をお楽しみください。

開催日 11/23(水・祝)
時間 11:00～11:40、13:00～13:40

出演 のまりん(野間成之氏)

申込不要 直接会場へお越しください

会場 アートホール

★初めての木口木版画★

輪切りにしたツゲの木を版木とし、ビュランという道具で彫る木版画です。黒い画面に白の線が美しい、小さな版画(直径約8cm)を制作します。

日時 11/27(日)
9:30～16:30

対象 高校生以上
定員 10名(要申込、先着順)
持ち物 下絵、筆記用具など
参加費 3,000円(材料費込)

講師 釣谷幸輝氏(06・07・11入選、版画家)

会場 楽屋A・B



「ケルプ博士の奇妙な発明」
釣谷幸輝(日本)

★ナイトミュージアム★【要観覧券】

いつもは「お静かに」と注意される展示室。でも「子どもと一緒に話しながら鑑賞したい」と思っている家族のための時間です。

日時 12/3(土)、18:00～20:00
対象 高校生以下の子どもを含む家族
定員 10家族(要申込、先着順)

※展示室が若干賑やかになる可能性があります

★おはなし劇場★【要観覧券】

絵本の読み聞かせや、人形劇、ブラックスシアターの上演で、皆さんを物語の世界へご招待します。簡単な手作りコーナーもあります。

開催日 12/11(日)
時間 10:30～11:30、13:00～14:00

協力 NPO法人 ぽっかぽか
申込不要 直接会場へお越しください

会場 休憩コーナー

申込受付は10/29(土) 9:00より電話にて

★新製品登場！ボローニャ展グッズ★

図録やポストカードをはじめ、入選作家の絵本や輸入絵本などを販売。なんと、今年はポストカード(50円)の絵柄が今までの2倍の32種類に増えました。楽しみながら選んでください！

新製品として、過去の入選者で人気作家の3人によるトートバッグ(800円)と缶バッチ(250円)を販売。バッグはB4サイズの書類が入って子どもにも大人にも使いやすい大きさです。全部揃えたいくなるほどのかわいいさ！

人気商品は展覧会期終了前に売り切れてしまうこともありますのでお早めにどうぞ。



★期間限定メニュー&プレゼント★

テイルルームでは、ボローニャ展にあわせて、新メニュー「シナモントーストセット」(600円)が登場！お好きなお飲み物とどうぞ。パスタとパン、季節のジェラートがセットになった「オマージュ」(880円)もおすすめ！

本展出品作品をモチーフにしたペーパーコースターのプレゼントを今年も！セットメニューご注文の方にもれなくさし上げます。



どちらか1枚プレゼント！

◇観覧料

	個人	団体
一般	800円	700円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

「秋の所蔵品展」

池田コレクション～日本画・彫刻作品を楽しむ～
それぞれの風景と街の表情～

開催中～10月30日（日）

◆第1展示室

池田コレクション～日本画・彫刻作品を楽しむ～

七尾市出身の実業家・池田文夫氏（1907～87）が蒐集した美術品のコレクションより、宮川長春・狩野芳崖・富岡鉄斎などの近代日本画を中心に、重要美術品「後奈良天皇和歌懷紙」、そして高村光雲・澤田政廣などの彫刻作品を加えて23点紹介しています。

【主な作品紹介】

「地獄極楽図」英一珪・歌川国貞

天保7年（1836）頃

英一珪（1759?～1843）は英一川の子で、師の高嵩谷の命で英家を再興しました。

一方、歌川国貞（1786～1864）は初代歌川豊国の門人で、3代豊国を襲名して美人画や役者絵などを描いた幕末の人気絵師です。英一蝶に私淑し、英一珪に師事しました。

本図は閻魔大王を一珪が、遊女を国貞が描いた師弟合作で、閻魔が鏡の中の遊女を覗き込む姿がなんともユーモラスです。



「木彫無憂華」大内青圃 大正～昭和時代

大内青圃（1898～1981）は東京都出身で、高村光雲に師事して主に院展を舞台に活躍した彫刻家です。仏教彫刻で知られ、昭和44年（1969）日本芸術院会員となりました。

釈迦の生母・摩耶夫人は、無憂樹のもとで釈迦を出産したといわれます。薄布をまとった女性が、その無憂華の花を頭に載せています。優しい微笑みと、流れるように緩やかなラインが美しい作品です。



【特別展示】長谷川信春（等伯）筆「陳希夷睡図」

◆第2展示室

それぞれの風景と街の表情～

私たちは日常において様々な風景と出会っています。同じ場所であっても季節や時間、自分の心の状態などによって、時には全く違った風景に見えることもあります。今回は作家たちが捉えた色々な風景と街の表情に注目し、日本画・洋画・工芸作品22点を紹介しています。

【主な作品紹介】

「家族の食卓」加戸ひとみ 平成5年（1993）

加戸ひとみ（1963～2008）は、石川県小松市に生まれ、山本知克に師事して日展、京展などで活躍した日本画家です。

氏は「幼い頃は家業が忙しく、家族揃って食事することはなかったが、ざわざわして人の気配はあった。それが、廃業してみんな外に働きだし、バラバラになってしまった」といいます。モノクロ調に描かれた食卓は、まるで色褪せた写真のようであり、氏の切ない思いが伝わってくるようです。



「巖門夕照」水道秋聖 平成4年（1992）

水道秋聖（1921～99）は、石川県七尾市に生まれ、矢野橋村、小松均に師事、昭和44年（1969）から創造展で活躍した日本画家です。

氏は同58年から500

号の大作を能登の風景シリーズとして描きました。

本作は奥能登の志賀町富来の名所、巖門の夕刻の様子を描いた作品です。

松林からのぞく海は、鏡のように夕日を映してオレンジ色に輝き、実にドラマティックな光景です。

岩に打ち寄せる波の音、風にゆれる松葉の音が聞こえてくるようです。



◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	350円	280円	220円
	280円	220円	

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

新設「池田コレクション展示室」

開館以来、当館所蔵品の中核である「池田コレクション」。本年には漆工品「根来」を中心とした34点が新たに加わり総点数は200点を越え、さらに充実した内容となりました。そこで、当館の顔ともいえるこの多彩な作品を常に皆様にご鑑賞いただくために、この春より「池田コレクション展示室」を新設しました。

これまでは、特別展開催時は「池田コレクション」の展示はありませんでしたが、今後は第3展示室の一部を同作品展示室として、工芸品を中心に10数点の作品を展示していく予定です。

また、所蔵品展開催時には、主に第1展示室で「池田コレクション」を展示します

ので、これからは常にも同作品をご覧いただけるようになります。

池田文夫氏によって蒐集された、作品それぞれのすばらしさを、改めて感じて頂ければ幸いです。



「池田コレクション展示室」(特別展開催時)

「池田コレクション」貸出情報

漆工「カブラ絵合鹿碗」

●「漆 悠久の系譜」
縄文から輪島漆、合鹿碗

会場…石川県輪島漆芸美術館
会期…開催中(10月23日)



等伯コーナー

昨年「没後四〇〇年」で大いに注目が集まった長谷川等伯。今年に入っても、等伯を主人公とした新聞小説の連載や、地元の鉄道路線でラッピング列車「七尾とうはくん号」が走るなど、何かと話題豊富です。

当館でも8月6日から9月11日まで「長谷川等伯展」を開催しました。今年は等伯の前半生といわれる「信春時代」をテーマとして、若年期作品を中心に28点を展示。出品作品は細密画が多かったことから、展示ケースに貼り付かんばかりに顔を近づけて、熱心に覗き込んでおられる方もいらっしやいました。



おかげ様をもちまして、本年の「長谷川等伯展」も無事終了。本展覧会実施に際し、ご協力頂いた方々、そして本展をご観覧くださいました皆さまには、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

◆ギャラリートーク報告◆

「長谷川等伯展」会期中の8月14日、当館学芸員による「ギャラリートーク」が開催されました。今回の展示テーマが「信春時代」であったこともあり、出品作品は地元ゆかりの仏画が多かったのですが、中でも今回が初展示となった新発見の等伯養父・長谷川宗清(道浄)の仏画2点と、信春若年期の仏画1点はやはり注目的で、参加者の関心を大いに集めていました。

また、「涅槃図」(羽中市・妙成寺蔵)の400年以上昔の作品とは思えない美しい彩色や、「日

堯上人画像」(京都市・本法寺蔵)の像主の人柄までも写しとった見事な描写などには、盛んに感嘆の声があがっていました。

そして最後、「複製松林図屏風」の前でこの名作が生まれたのは、これまで観てきたように等伯が「信春時代」に多くのことを学び、経験したからこそであることを説明し、解説を終えました。ご参加くださいました皆さま、本当にありがとうございました。

◆当館等伯作品貸出情報◆

来年早々の1月20日(金)より2月19日(日)まで、岡山市立美術館(岡山市北区天神町)で特別展「長谷川等伯と雪舟流」が開催されます。同展は、等伯を中心に「雪舟流」といわれる様々な画家の作品を紹介するもので、信春から等伯時代までの幅広い範囲で、多くの等伯作品が出品されるという、とても楽しい内容です。そして、同展に当館所蔵および寄託作品より次の作品4点が出品されます。

- ①「善女龍王図」長谷川信春(等伯)筆
 - ②「愛宕権現図」長谷川信春(等伯)筆
 - ③「陳希夷睡図」長谷川信春(等伯)筆
 - ④「達磨図」長谷川信春(等伯)筆
- (④は七尾市・龍門寺蔵)

※展覧会の詳細については、岡山市立美術館にお問い合わせください(☎086-2225-4800)。



「愛宕権現図」

市民ギャラリー 展覧会案内

「等伯」を描く 特別公開

西のぼる「さし絵原画展」

10月1日(土)～16日(日)

無入場

重厚でかつ明るい独特の作風で、歴史小説の装画、挿絵、ブックデザインを数多く手掛ける西のぼる氏。現在、日本経済新聞に連載中の小説『等伯』(安部龍太郎・作)の挿絵を中心に、多数の原画を展示します。

主催 等伯生涯の地PR事業支援委員会、七尾市、日本経済新聞社

連絡先 七尾市企画経営部文化振興課

☎0767(66) 6222

MOA美術館七尾・中能登児童作品展

無入場

10月20日(水)～23日(日)

初日は午後0時30分から

最終日は午後4時まで

生命を尊ぶ心、心ゆたかな人間形成を願いに、未来にはばたく子どもたちに、夢と希望を与える入賞作品を展示させていただきますので、ぜひご鑑賞ください。10月23日午前10時より美術館アトリホールにて入賞者の表彰式を行います。

主催 (財)エム・オー・エー美術・文化財団

連絡先 MOA美術館七尾・中能登児童作品展実行委員会

☎0767(53) 3914

第6回 彩の会&写団のと展

無入場

10月28日(金)～30日(日)

最終日は午後4時30分まで

第7回七尾市民文化祭事業として、七尾市を中心に活動する洋画グループ「彩の会」と写真グループ「写団のと」の第6回目の合同展を開催します。計24人の会員が近作約80点を展示しますので、ぜひご来場ご高覧ください。

主催 七尾市文化協会

主管 彩の会・写団のと

連絡先 彩の会 加地求 ☎0767(52) 1613

平成23年度 七尾市美術展覧会

11月3日(木)～6日(日)

最終日は午後4時まで

無入場

一般部門「日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真」の6部門、ジュニア部門「絵画・習字」の2部門の公募による美術展です。『伝われ感動ノ』個性あふれる作品をぜひご鑑賞ください。入賞者の表彰式は、11月5日(土) 午後1時30分より美術館アトリホールにて行います。

主催 七尾美術作家協会(会長・吉田隆)

連絡先 橋本義則 ☎0767(53) 3011

第68回北國写真展 七尾展

無入場

12月23日(金)～25日(日)

最終日は午後4時30分まで

第68回目の写真展を迎えるにあたり、喜びに耐えません。今年このうえなく感動した作品の中の一枚、何卒見逃さず、どうか皆様お誘い合わせのうえ賑々しくご覧ください。出品者も心のはげみになることでしょう。

主催 北國写真連盟・北國新聞社・富山新聞社

連絡先 宮崎 功 ☎090-4320-2178

アトリホール催し物案内

ふるさとへ、ありがとうを伝えたい

青木和子ソプラノリサイタル

10月16日(日) 開演 午後2時

ふるさとへは遠きにありて思ふもの、室生犀星の詩に胸うたれるこの頃です。幼き頃遊びなれた小丸山台地の素晴らしい美術館ホールで歌わせていただける幸せを思いつつ練習をしております。ご来場をお待ちしております。

入場料 1,000円(全席自由)

主催 青木和子リサイタル実行委員会

連絡先 青木和子 ☎076(222) 7256

石川県建築士会七尾鹿島支部

創立60周年記念式典

10月22日(土) 開演 午後1時

無入場

記念事業として「伝えるということ」という演題で、元テレビ金沢アナウンサーの平見夕紀さんにご講演いただきます。入場無料ですのでどなたでもお誘いあわせのうえお越しください。

主催・連絡先 石川県建築士会七尾鹿島支部

石本健一 ☎090-2032-4722

湯川れい子講演会

「美しい能登を次の世代へ」

10月23日(日) 開演 午後7時

今年、世界農業遺産として登録された能登の里山里海。この美しい能登を子どもたちの未来に残していくために、自然を守り共存していけるライフスタイル等についての提案を、湯川先生をお迎えしてご講演いただきます。どうぞご来場ください。

入場料 1,000円(全席自由)

主催 赤いかっぱ着隊

(元気に頑張る能登のおっちゃん)

連絡先 田中真澄 ☎0767(52) 5028

医療安全公開セミナー

「医療安全のための組織コーチング」

無入場

10月28日(金) 開演 午後6時

医療関係者や一般の皆様を対象に、毎年開催しているセミナーです。6回目の今年は、元和歌山県立医科大学教授で現臨床コーチング研究会会長の畑塾義雄先生をお招きし、安全な病院の組織作りについて学びます。

主催 恵寿総合病院 医療安全管理部

連絡先 医療安全管理室 平前政武

☎0767(52) 3211

doice ピアノコンサート

11月6日(日) 開演 午後1時30分

無入場

保育園児から大人までのピアノ発表会です。フ
リーアナウンサーの平見夕紀さんによる朗読をは
じめ、講師の演奏やお楽しみもあります。ご来場
をお待ちしています。皆さん、音楽でつながりま
しょう。

主催 ピアノグループ doice

連絡先 井藤真理 ☎0767(58) 1355

中條久美子・酒谷広重門下生ピアノ発表会

11月20日(日) 開演 1部・午前10時

無入場

2部・午後1時30分

日頃の練習の成果を発表する場として、毎年開
催しています。幼児から高校生までの生徒が、ソ
ロや連弾で出演します。一生懸命な姿を是非ご覧
ください。どうぞお気軽にご来場ください。

主催 中條久美子・酒谷広重門下生

連絡先 中條久美子 ☎0767(22) 1412

第14回 メロディ音楽会

無入場

12月11日(日) 開演 午後1時30分

2年に1回開かれる発表会です。お馴染みのク
ラシックからポップス、アニメソングまで生徒た
ちがお気に入りの1曲を演奏します。どうぞ、お
気軽にご来場ください。

主催 松本由美子門下生

連絡先 松本由美子 ☎0767(53) 7068

ひまわり保育園おたのしみ会

無入場

12月18日(日) 開演 午前9時30分

2歳児から年長児による遊戯や歌、和太鼓演奏
等の発表を行います。子どもたちの1年間の成長
をご覧いただきたいと思ひます。
多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

主催・連絡先 ひまわり保育園

☎0767(57) 2800

新収蔵庫・楽屋棟が完成しました

何かとご不便をお掛けしていましたが新収蔵庫・楽屋棟の
増築工事も竣工し、楽屋棟は7月1日よりご利用いただ
いています。また同時に、美術館正面入口近くに優先駐車場
を新しく整備しました。

新施設利用に先だって、6月26日(日)に両施設の「友
の会会員限定見学会」を実施し、参加いただいた方々に新
収蔵庫では既存の収蔵庫との設備の違いや特徴、今後必要
な庫内環境整備について、また、楽屋棟では各部屋の詳細
など資料を基に実際の現場で説明しました。皆様から、収
蔵庫では「作品保管の大変さが解った」、楽屋棟では「楽
屋ができてより使いやすくなる」、「ピアノを良い状態で保
管できる」などの感想をいただきました。

今後、新収蔵庫は『第2収蔵庫』として主に工芸品・寄
託品を保管する為に、それらを収納する専用棚・ラックな
どを整備します。なお、前号でも書きましたが、美術品の
保管に適した環境になるまでには、まだ数ヶ月以上はかか
ると思われます。

楽屋棟は楽屋A・B、ピアノ保管庫、給湯室、男女トイ
レと3つの倉庫があります。また今まで無かった舞台下手
からの出入りも出来るようになりました。もちろん楽屋棟
専用の出入口もありますので全て楽屋棟内で済ませられます。

この様に、大変使いやすくなったアートホールのご利用
をお待ちしています。



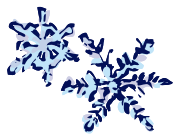
楽屋A



第2収蔵庫



新施設見学会の様子



これからの展覧会予定



◆第1・2展示室

「冬の所蔵品展」

平成23年12月23日（金）～平成24年2月12日（日）

（テーマ1）池田コレクション～茶道美術品を中心に～

陶磁器を中心に日本画・漆工・彫刻など多彩な内容の「池田コレクション」ですが、その多くが「茶道美術品」であることが大きな特徴となっています。本テーマでは、「池田コレクション」より茶道美術品の数々を紹介します。

（テーマ2）～魅力的な女性たち～

はるかな昔より、美術工芸品を通して様々に表されてきた女性たち。あらゆる想いが込められて創造されたその姿は、観るものを惹きつけてやみません。本テーマでは、女性がモチーフとなった絵画や彫刻などを紹介します。



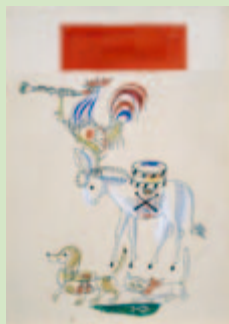
「竹茶杓 追銘下ソキ」
古田織部
池田コレクション

◆第1・2・3展示室

「ハンス・フィッシャーの世界展」

平成24年2月24日（金）～4月15日（日）会期中無休

表情豊かな動物たちが登場する絵本で愛され続けている作家ハンス・フィッシャー（1909-58）。彼の名前を知らなくとも『こねこのぴっち』はご存知でしょう。世界的に活躍した版画家でもある彼は、スイスのベルンに生まれ美術学校で装飾画・版画を学んだ後、パリで働きながらフェルナン・レジェのアトリエで絵を学びました。スイスに戻り広告や舞台芸術などの仕事を続けますが、自らの表現を求めて初めて制作した絵本が、長女にプレゼントした『ブレーメンのおんがくたい』です。長男に『いたずらもの』、次女には『たんじょうび』を贈りました。この『たんじょうび』の最後に登場する子猫が「ぴっち」だったのです。『こねこのぴっち』を含む、これら家族に贈った手描き絵本や出版された初版本、原画、下絵に加え、その他版画作品などを紹介します。



「ブレーメンのおんがくたい」より



「たんじょうび」より



『こねこのぴっち』より



『長ぐつをはいたねこ』より

4点とも小さな絵本美術館蔵



割引、プレゼントなど特典いろいろ / ぜひ当館でもご利用ください。



飛行機……能登空港から能登有料道路利用約45分
車……金沢から能登有料道路利用約1時間15分

タクシー……JR七尾駅から約5分
徒歩……JR七尾駅から約20分

市内循環バスまりん号

……JR七尾駅前「ミナ、クル」ビル裏バス停から西回り「七尾美術館前」下車

なおコミュニティバスぐるっと?

……JR七尾駅5番乗り場から西コース「小丸山台1丁目」下車

休館日のお知らせ

（10月～12月）

◆10月 3、11、17、24、31

◆11月 1、2、7～10

◆12月 19～22、26、29～31

◎次号・第68号（冬号）は1月1日発行予定です。